

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H27-14号)

平成27年9月16日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成27年9月15日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

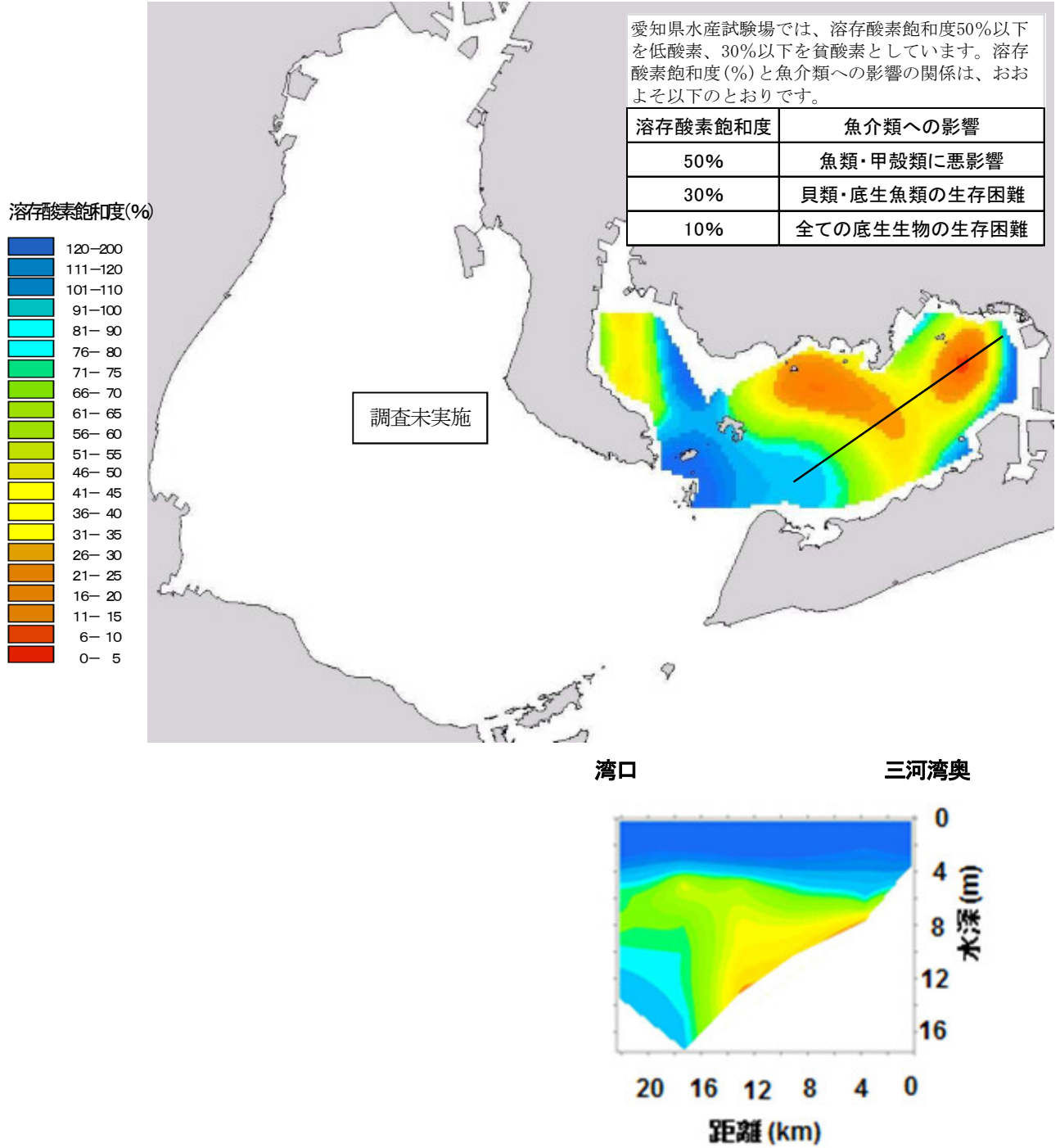


図1 三河湾 (9月15日) の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」)

三河湾

9月15日の調査結果を図1に示しました。前回調査(9月2,3日)では渥美湾、知多湾ともに貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では、渥美湾、知多湾ともに縮小していました。

自動観測ブイ(1号ブイ、蒲郡市沖)のデータをみると、9日の台風第18号と11日の強風の影響により海水の上下混合が生じ、いずれも一時的に貧酸素水塊が解消しましたが、その後、再度、貧酸素化が進行している状況です(図2)。

表底層の水温較差は小さいため、密度差も小さくなっており、海水の上下混合や岸寄りへの湧昇が生じやすくなっています。気象庁によると、17日は県東部で10m以上の風が予想されており、海水の上下混合により一時的に貧酸素水塊は縮小すると考えられます。しかし、例年、10月上旬ごろまで貧酸素水塊が形成されますので、その後も再び貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	24.6	~ 26.6	16.2	~ 27.2
底層	24.4	~ 25.5	26.6	~ 31.4

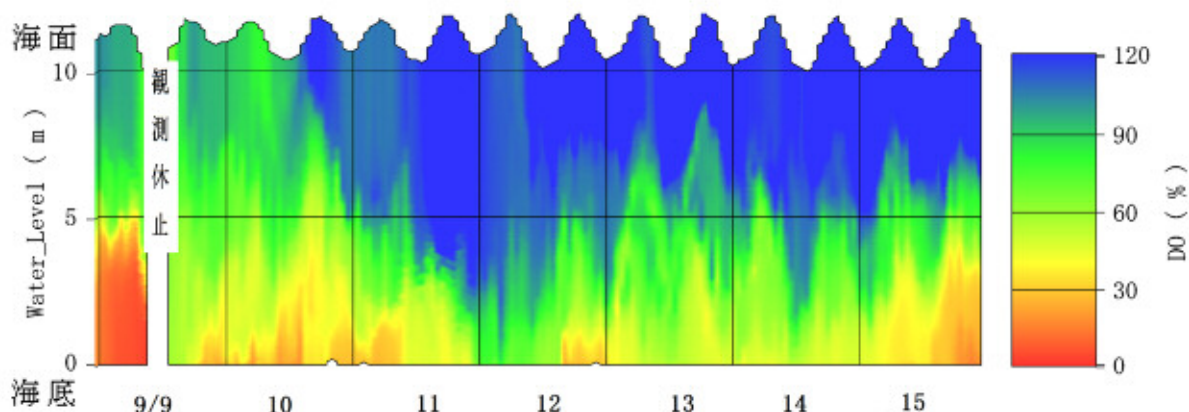


図2 溶存酸素飽和度の経時変化(9月9~15日、1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素飽和度

溶存酸素飽和度(%)

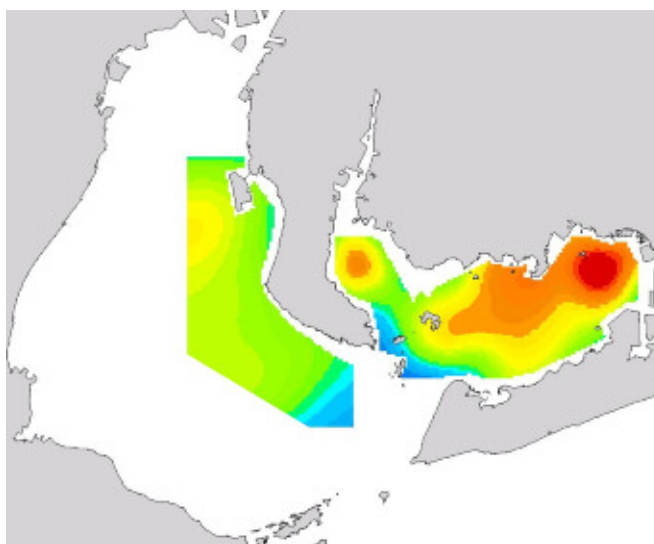
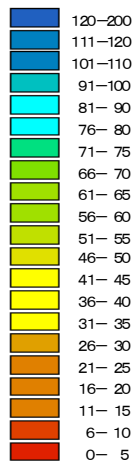


図3 平成27年9月1日(伊勢湾)、2,3日(三河湾)